

新型コロナウイルス感染症患者急増対策の状況について

I 入口対策

1 病床数の拡充

- ・800床(+50床)程度の体制構築をめざし、各医療機関に病床確保を要請し、新たに83床を確保した。運用病床についても順次拡大

区 分	従 前	拡充後	差 引
病院数	55	62	7
病床数	756	839	83
うち重症	116	116	0

[確保病床の内訳]

- ・既協力病院: 756床→796床(+40床)
- ・新規協力病院: 0床→43床(+43床)

2 宿泊療養施設の拡充

- ・1,200室程度(+200室)程度の体制構築をめざし交渉した結果、1施設(神戸市内・142室)を確保した。2月12日(予定)の運用に向け準備中

3 入院調整機能の強化

- ・CCC-hyogoにおいて、医師(災害医療コーディネーター)に加え、1月22日から兵庫県立大学看護学部から教員の派遣を受け、入院調整機能を強化

II 出口対策

1 回復者の転院受入促進

- ・医療機関の地域連携室等と連携し回復者の転院受入を促進するため、県病院協会・県民間病院協会に「新型コロナウイルス感染症回復者転院支援窓口」を2月3日に設置
- ・転院受入医療機関に対して、1名受入れあたり10万円を支援(緊急事態措置期間中)
 - ※国の基本的対処方針(2月2日)において転院支援の仕組みを検討することとなり、それを踏まえて今後対応

III 入院調整者等への対応

1 宿泊療養施設の対応強化

- ・宿泊療養施設において、オンコール医師の対応に加え、DMATの仕組み等を活用して医師等の医療チームをホテルヒューイット甲子園(西館)に1月23日から派遣

2 自宅待機者に対するフォローアップ体制の強化

- ・患者の状況に対応し以下の取組を行うなど、健康観察を強化

① 全自宅待機者への対応

健康観察アプリによる自己チェック、及び、その確認を含めた電話による健康観察と随時相談の実施

ア 開始日: 2月2日(火)

イ 実施者: 健康福祉事務所保健師、県看護協会

② 高齢者や基礎疾患を有するなど特に注意が必要な方への対応

パルスオキシメーター等を活用した看護系大学教員等による家庭訪問等の実施

ア 応募状況(2月3日現在) 15名

兵庫県立大学(1名)、姫路大学(3名)、常磐大学(1名)、関西国際大学(10名)

イ 今後のスケジュール

2月8日(月) 事前説明会

2月9日(火) 訪問等開始